

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	こころとからだのしくみⅡb	担当者名	松橋 ひとみ(実務家教員)
授業の概要	「こころとからだ」領域において、生きていくために営まれる移動、身じたく、食事、入浴、排泄、睡眠に関わる身体の構造と機能および機能の障害による日常生活の変化・社会活動面への影響について学ぶ。生活支援行為の医学的根拠、状態変化の観察点を知る。関連する共通専門用語を学ぶ。				
科目の到達目標	①からだのしくみについて日常生活動作を通じて理解し、身体状況をアセスメントできる。 ②個々の身体状況に合わせ、自立に向けた適切な介護方法について根拠を明確にしながら展開できる。 ③チームケアにおける介護福祉士の役割を理解し、医療職と連携をもてる。				
DPの観点	④協調性 ⑥専門知識・技能				
授業時間外学修(予習・復習)	該当するテキストの箇所を読んでくる。予習・復習をそれぞれ1時間程度行うこと。				
フィードバックの方法	授業担当者より期末試験の結果が返却される。				
単位認定の要件	15回の授業を実施し、後日、最終筆記試験を実施する。適宜、授業内筆記試験を実施し、最終筆記試験はそれら総合的な内容のものとする。基準を満たすことが単位認定の要件となる。受講態度、提出物、試験結果を総合的に判断する。				
評価の方法・割合(%)	期末筆記試験 40%、授業内試験 20%、振り返りシート 20%、授業内活動 20%				
履修上の注意事項	適宜、演習を実施するが、演習に臨む態度も授業内活動として評価対象とする。30分未満の遅刻・早退が3回みとめられた場合、1回の欠席とし換算する。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			からだの各器官、機能について	④⑥	振り返りシート
2			人体模型、テキストを使用し、人体の構造について理解する	④⑥	振り返りシート
3			消化器系の構造と機能食べるしくみ、からだをつくる栄養素	④⑥	振り返りシート
4			消化器系の障害と栄養(機能低下、障害)①	④⑥	振り返りシート
5			消化器系の障害と栄養(日常生活での留意点、医療との連携)②	④⑥	振り返りシート
6			排便のしくみ、生理的意味について	④⑥	振り返りシート
7			排便に関する機能低下、障害が及ぼす影響について	④⑥	振り返りシート
8			排尿のしくみ、生理的意味について	④⑥	振り返りシート
9			排尿に関する機能低下、障害が及ぼす影響について	④⑥	振り返りシート
10			入浴の生理的意味、観察ポイント、医療との連携	④⑥	振り返りシート
11			身じたくの生理的意味、観察ポイント、医療との連携	④⑥	振り返りシート
12			移動の生理的意味、観察のポイント、医療との連携	④⑥	振り返りシート
13			睡眠の生理的意味、観察のポイントについて	④⑥	振り返りシート
14			睡眠障害が及ぼす影響、医療との連携	④⑥	振り返りシート
15			各器官の関連により生命が維持されていることをまとめとする	④⑥	振り返りシート
期末試験			期末試験		筆記試験

使用テキスト	最新 介護福祉士養成講座11「こころとからだのしくみ」(中央法規出版) 荘村明彦
参考文献 参考URL	「体のしくみとはたらき図鑑」(創元社) 大橋順
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--